

南関東防衛施設地方審議会が開催されました！



(審議会の様子)

平成29年1月31日(火)、南関東防衛局において、平成28年度南関東防衛施設地方審議会が開催されました。

南関東防衛施設地方審議会は、自衛隊又は米軍が使用する不動産等に係る権利の対価の額や、漁船の操業制限等による損失の補償額等について、南関東防衛局長の諮問に応じて調査審議し、これらに関し必要と認める事項を同局長に建議することを所掌しています。

当日は、委員の任期満了に伴い新たに任命された委員6名による会長の互選が行われ、高桑光雄委員（現 神奈川県農業協同組合中央会・連合会 会長）が会長に選出されました。今回の審議会においては南関東防衛局長からの諮問事項が無かったため、会長及び委員の皆様方に防衛行政に関する知見を一層深めて頂く事を目的として、南関東防衛局担当課長より、米軍根岸住宅地区における日米間での返還合意から地権者への土地引き渡しまでの返還手続、厚木飛行場周辺における騒音対策の一環として当局が移転補償のため地権者から買い上げた土地（周辺財産）の利活用状況について説明を行いました。

その後、米海軍横須賀海軍施設に場所を移し、同施設へ入港中の空母ロナルド・レーガンを、第70任務部隊司令官／第5空母打撃群司令官チャールズ・ウィリアムズ少将、同艦艦長マイケル・ドネリー大佐、乗組員及び米海軍横須賀基地スタッフの案内により視察して頂きました。また、在日米海軍司令部庁舎内において、在日米海軍司令官マシュー・カーター少将、副司令官兼参謀長スティーヴン・ウィーマン大佐による在日米海軍の組織、基地概要及び在日米海軍の役割等の説明を聴取して頂きました。



(空母ロナルド・レーガン視察)



(在日米海軍司令官による説明)